

日本大学 桜樹会会報

第 19 号

昭和57年12月

日本大学桜樹会

目 次

カット	浜田靖一	1
体操徒然草	浜田靖一	2
部長、監督の交代に際して	稲橋恒行	4
初心忘れじ	門脇春男	5
監督在任中をふり返って	遠藤幸雄	6
雑 感	早田卓次	7
懇親会報告		8
部長、監督の交代に伴うパーティー報告		10
昭和56年度決算報告		12
大学スポーツ興隆への問題点と展望	門脇春男	13
アメリカの印象	小松武雄	14
現役のことば		16
競技会成績		18
昭和56年度会費納入者一覧		20
会費納入について		23
会員名簿 訂正・追加		24
編集後記		31



片手倒立の男
ロダンの素描集より

ロダンは対象だけに目をそそぎ、紙面を見ずにかいたものだろうといわれている。支持腕は床に垂直でなければならぬという片手倒立のセオリーをよくとらえている。 はまだ

体 操 徒 然 草

浜 田 靖 一

『おしなべてスポーツを好む人おおく、もろもろのスポーツ選手すくなからざれども世に体操の補欠選手ばかりうらやましからぬものはあらじ』もし徒然草を書いた兼好法師が今頃あらわれたら新聞のコラム欄に冒頭のような書き出して世間を唸らせるような名文を書いてくれるかも知れない。戦後ヘルシンキで行われたオリンピック大会には補欠選手なしの5名で好成績を収めて来たが、現在では世界選手権でもオリンピック大会でも代表選手は7名えらばれるのが定石でそのうち1名は補欠選手である。

代表選手にえらばれた以後は補欠選手も正選手も待遇は同じである。いや練習も合宿もユニフォームも皆同じである。ただ試合に出られないだけである。勿論正選手に欠員が出れば、その為の補欠であるから出番がまわってくるわけである。

すなわち補欠選手はもしもの為に練習しなければならぬ存在なのである。彼にはたよりない、はりあいの少い万一のために日々のはげしい練習がつづくのである。

そして大試合になればなる程、正選手は自重するし、周囲も慎重に扱うので万が一が訪れることは少い。であるからといって練習を投げ出すわけにもゆかない。いやむしろチームを明るく元気づけるために気を使うことさえある。

本番前に行われる審判講習の試験審判のモデルが補欠選手の唯一の出番である。それも正選手よ

り20位も30位も下位ならばあきらめもつくが、0.5とか0.3とかいう紙一重の差が正選手と補欠選手を分けるのである。

世界の最高水準の技倆をもつ日本の選手層の中でばかことに僅少の差で勝敗がきまるので、ちょっとしたミスが順位に大きくひびくのである。東京オリンピックの時の吊環でのメダリスト早田も、ミュンヘンオリンピックの最終予選ではフリーの鉄棒の最後の下り方で逆手車輪からの前方宙返り下りでわずかに2廻ばかり踵をバーにひっかけて転落し、それまでの優位な立場を棒にふり補欠選手になってしまった。実力十二分でも最終予選の結果の点数であるから致し方がない。

しかし、この位のベテランに補欠になってもらえば監督も他の選手も安心していられるし、本人も万一の時には出られるように調整しながら後輩の多いチームの面倒をみていた。むしろ陰でチームの推進力になっていたわけである。またこれがその後の国際的名チームリーダー早田をつくりあげる素地になったともいえるのである。といてもそうよろこばしい立場ではない。

モントリオールのオリンピックの補欠選手は当時日大文理学部助手の五十嵐である。この時の選手選抜には3回の試合が行われた。すなわち昭和50年10月に長野市での第一次予選で23名の強化選手が選ばれた。第二次は51年の4月に両国の日大講堂で、第三次の最終予選は代々木の第二体育館

で行われた。

第2次 51.4.23～24 日大講堂

1. 監物永三 (日体スワロー)	56.45	56.35	112.80
2. 笠松茂 (東海TV)	55.60	56.85	112.45
3. 塚原光男 (河合楽器)	56.15	55.80	111.95
4. 梶山広司 (日大桜樹ク)	55.40	56.35	111.75
5. 加藤沢男 (大塚クラブ)	56.15	55.45	111.60
6. 五十嵐久人 (日大桜樹ク)	55.60	54.55	110.15
7. 藤本俊 (日体スワロー)	54.90	54.50	109.40

第3次 51.3.7～8 代々木第2体育館

1. 笠松茂	56.90	57.60	114.50
2. 監物永三	56.45	57.15	113.60
3. 塚原光男	56.55	56.55	113.10
4. 加藤沢男	56.05	56.60	112.65
5. 藤本俊	55.65	56.20	118.85
6. 梶山広司	55.85	55.20	111.05
7. 五十嵐久人	55.45	55.60	111.05

代表選手

1. 笠松茂	226.95
2. 監物永三	226.40
3. 塚原光男	225.05
4. 加藤沢男	224.25
5. 梶山広司	222.80
6. 藤本俊	221.25
7. 五十嵐久人	221.20

結局代表選手は2次、3次の試合の点数の合計できめられ五十嵐は0.05の差で7位になり補欠選手となったのである。如何に客観化されているといっても所詮人間の判定、0.05などという点数がまことに微妙な浮動性のものであるかはいうまでもない。しかしそれがくっきりと明暗をわけるのである。

ところが、御本人の五十嵐は補欠になったことなど少しも意に介さなかった。そんなことよりも多年の念願がかなってオリンピックの代表選手として大会にのぞめることを心からよろこんでいるようであった。これは何よりも彼の人柄のしからしめるところであった。彼は学生の頃から無口で真面目で謙虚な努力家であった。

したがって補欠選手になってからも以前と全く変わらない態度で黙々と練習していた。若い競技の世界をよく知っている五十嵐にとって正選手の事故など全く胸中になかった。しかしその万が一

が来たのである。モンリオールについて試合を眼前にし最終予選でトップだった脂の乗りきった笠松が腹痛を訴えたのである。診断の結果、虫垂炎とわかり入院、手術となった。試合のはじまるわずか十日前の出来事である。

笠松にとって代って出場した五十嵐の活躍をここに再録する必要はないであろう。彼は正選手に少しもひけをとらない得点をあげ、日本チーム優勝の原動力になった。特に鉄棒のフリーでの伸身後方2回宙返りの大技はまさに圧観で9.85を出したのである。

いかに華やかであろうともアマチュアスポーツの試合は所詮虚構の世界の出来ごとである。虚構の世界であるが故に人々は無償のよろこびに拍手をおしまないのである。そして虚構の世界の中でも通ずる真面目さや謙虚さを私は大切にしたいのである。

部長，監督の交代に際して

桜樹会々長 稲橋恒行

体操部が創設されてからやがて四半世紀が過ぎようとしています。その間多くの名選手を輩出し、インカレ三連覇の大偉業とともに日大体操部の名声を確固たるものにしてきたことは皆様ご存知の通りです。そして、ここに至るまでには実に多くの人の努力があったこともわれわれは忘れるわけにはいきません。現在400名を超す会員名簿を見るにつけ、ひとりの優秀な選手が育つまでには、いかに多くの仲間が共に練習に汗してきたかを思わずにはられません。体操は個人競技であるとはいっても、仲間との連帯があってこそ練習に打ち込めるのであってスポーツの真価もそこにあるといえます。インカレの雰囲気はまさにチーム・ゲームそのものだと私は思うのです。

このようなスポーツ集団が秩序を保ちつつ活動していくためには、組織がしっかりしていなければならないのは当然です。部長，監督，コーチ，そして主将以下の学生の組織，さらにはOB会の存在，それらがうまく機能してはじめて立派なスポーツ集団と言うことができると思います。

さてこの度，部長，監督が交代されました。前任の浜田部長，遠藤監督には，十年余に及ぶ長きにわたって部の発展のためにご尽力戴いたことに対して，私達卒業生といたしましても衷心より感謝の意を表したいと存じます。そして今後とも部やOB会に対してご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

新部長，新監督に就任された門脇，早田両先生には，体操部のますますの発展のために努力されますよう切にお願い申し上げますとともに，われわれとしても大いに協力することをお約束いたします。

前述しました通り，それぞれの立場で各々の使命が果たされてこそ日大体操部の伝統は守れるものと考えます。会員諸兄姉におかれましては，今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

初心を忘れじ

体操部長 門脇春男

この4月1日付で鈴木 勝保健体育審議会会長名で、名誉ある体操部長の辞令を受けた。

昭和31年の体操部創設以来(初代 秋葉安太郎)4代目部長になった訳で、ことの責任の重さといかにしたら体操部の「限りなき前進」を復活できるかの命題の解決に努力せねばとの覚悟を新たにしたのである。

さて、現在わが日本大学体操部の体操界における立場はどうなっているかを考えるとき、競技力の面からみて、(財)日本体育協会競技力向上委員会(委員長 福山信義)より強化指定校に指定され、年間60万円位の補助を受け活動している。一方、大学当局から年間150万円位の補助と用具設備費120~130万円現品支給を受け部の円滑な運営をしており、さらには文理学部より体育実技のために年間50万円相当の用具の支給を受けている。従って創設時から10年間の私の体操部監督時代から見ると現在にははるかに恵まれており、部で運用できる費用も潤沢になったといえる。

いまの体操場は、秋葉先生が学部長時代の昭和39年夏に完成したもので、体操の専用練習場ができたことによるこびはことばにいい表わすことのできない位嬉しいことであった。そして、東京オリンピック体操練習会場指定、そして各国からの来館、将にこの当時は国際色豊かで、なにか日本の体操の表舞台となった感がなきにしもあらずであった。

このときのオリンピックでは、遠藤幸雄の個人総合、平行棒の優勝、早田卓次の吊輪の優勝と、本当に花が一時に咲いた感の極めて充実した「第一期黄金時代」ともいえる時代を迎えたのである。全国から優秀新人がわんさと受験し、そして新入部員として迎え入れられたときでもある。合宿所は赤堤から八幡山へ移り、20に及ぶ部屋を借り、竜が天にのぼるの勢いのいい良き時代を迎えることができた。

また、ここに特筆すべきことは、早田卓次、渋谷(現 木村)多喜の昭和37年の札幌でのインカレの個人優勝である。部を発足させ隠忍7年の星霜、満足すべき体育館のなかった本当に苦しい時代でもあった。稲橋恒行(現 桜樹会会長)、石井征也(現 同副会長)の献身的な物心両面に亘るご支援もあり学生界のトップへ躍りてることができたのである。

私は、いまこの稿を記するに当り、多少郷愁にふけている感もしないではない。しかし、昔の学生はなにものかにとり憑かれたような、あるいは、宗教的な信仰に近い位の体操に対する情熱があったと気憶する。いま学生スポーツに対する各自のプライドと自覚が本当に欲しいと思うのはあながち年のせいでもあるまい。古い方になった先輩の諸君、青春に悔いのない学生生活を送れたことに対して誇りをもっているでしょう。いま、現役の選手達も早田新監督を中心としてさらに新しい

前進を始めつつある。

桜樹会のみなさん、母校の体操部を旧に増してご声援、ご援助下さい。現役はそれに応えるべき

努力を日々しているのである。私は、いろいろ希望に満ちながら筆を走らせている。全力をつくし体操部の発展を願って新任の挨拶とする。

監督在任中をふり返って

前監督 遠藤 幸雄

昭和57年4月、部長、監督の任をそれぞれ門脇副部長、早田コーチにバトンタッチいたしました。それまでの11年余り、桜樹会のみなさんからは、部に対する深いご配慮ならびにご交情をいただき沢山の思い出を作ることができました。

今回、感謝の意を表しながらふり返ってみたいと思います。

昭和45年、新監督に任命されたわたくしは新役員の紹介の席上、「もし、3年以内にインカレ優勝ができなかった場合、監督を辞任する覚悟でやります」と決意を述べましたが「大きなことをいって……」と思われたことでしょう。それも、誠意をもって勧誘にあたればという強い気持があったからに他なりません。

昭和48年、念願の男子インカレ初優勝、なんと不思議な結果であろう、監督就任3年目とは。

もっとも、初勝利は一足飛びに獲得できたものではなく、昭和46年の椎名君、昭和47年の五十嵐君の個人総合優勝というベースの上に達成されたものです。

そういえば、昭和46年のインカレでチーム兼個人総合終了と同時に、日本大学応援席から紙吹雪が舞上ったことがありました。計算ミスを鷓呑みにした歓喜とわかるまで時間を要さなかったものの、もし、椎名君の優勝がなかったならば、紙吹

雪をどう結びつけるか、その理由を探すのに苦労したことでしょう。

初優勝から3連勝も大した勢いでした。それは、期待された部員の順調な成長と梶山君の活躍にあったといえます。

その頃、「遠藤の歩いたあとにはペンペン草も生えない」などと冗談をいわれたものです。

もちろん、勧誘のための金銭を媒介としたことはなく、殆んど、早田コーチと共に誠意をもってアタックしたにすぎません。

また、こんなことも耳にしたことがありました。「日本大学は無名の選手を育てるのが上手だ」というもので、こんなにうれしいことはありません。

現在、ベテランの仲間入りしている金居君などはその一例でしょう。ここまでの上達には本人のもつ素質と努力に優るものはないとはいえ、もし、インターハイで彼の「あん馬」の旋回が目に入っていなかったらば、現在、桜樹会のメンバーかどうか疑わしいと思います。

監督の義務として、女子の強化も当然でありました。過去、インカレ優勝の実績をもつだけに気になる一つでもありました。

ご承知のように、女子の強化は1968年以降世界的に男性の力を頼る傾向が強まりましたし、選手の低年齢化も進み今日に至っています。さら

に、昭和53年から実施された入試改革が部員の減少を招いたことも否定できません。その点、木村コーチのご苦勞も大変だったと思います。

しかし、インカレが存続する限り、そして中心がジュニア層に推移したとはいえ大学レベルの競技会がそれなりに意義をもつ以上、新入生の男女に対するバランスには十分な配慮をしてきたつもりです。今後、大学女子に関してはユニバーシアード大会を除き、国際競技会への参加はさらに厳

しくなることでしょう。その点、ミュンヘン大会(1972)、バルナ世界選手権大会(1974)、モントリオール大会(1976)に本学の女子選手と参加できたのはチャンスに恵まれていたといえます。

「新生に苦難あり」といいます。どうぞ、これからもいままで以上のご協力を新執行部にお寄せください。

s . 57 . 10 . 14 . 記

雑 感

体操部監督 早 田 卓 次

私が本学に入学したのは昭和34年である。京王線の新宿駅がまだ地上にあって、電車は甲州街道を斜めにつっ切って初台方向へ走っていた。文理学部の野球場の向うには牧場が広がり、牛がのんびり草を食べていた。そんな時代に私は和歌山から上京してきた。

練習場は現在の第1体育館で、バスケット部やできたばかりのフェンシング部などとの共用だった。時間がきてバスケット部に体育館を明け渡すと、鞍馬を外に持ち出して暗くなるまで練習した。鉄棒とつり輪は外にもあって、砂を掘り返すのが1年生のつらい仕事でもあった。

そのころ部は、2部で優勝し1部に昇格してすぐ3位になるなど、新興日大として大いに注目を集めていた。創部間もないころであり、私達が入学してはじめて4年生から1年生までが顔を揃えたのである。とにかく、みんなが自分達で伝統を築くのだという意気に燃えていた時代だった。

その後専用体育館もでき、学生体操界では常に

上位を占める伝統校としての地位を築いてきた。

そしていま、私は突然監督の立場に立たされ、その責任の重さをひしひしと感じている。現役からコーチとしてのこの20年余り、私はただ、部長、監督であった諸先生方についてくればよかった。しかしこれからは自分で判断し、決断しなければならないことに数多く出あうに違いない。未熟な私はその重責を果たせるのかどうか、われながらきわめて頼りない思いがする。

とは言っても引き受けたからには、微力ながら精一杯がんばるつもりである。そして私が先人の業績をひきつぎさらに新たな伝統を築いていくためには、私自身、和歌山の片田舎から上京した当時の気持を思い起こさなければと思う。

懇 親 会 報 告

インカレ、全日本、社会人大会あるいは国体、インターハイなど全国規模の大会が開催されると、地元の会員が献身的にほん走して本会の懇親会が催される。すっかり恒例となったこの催しは、他の大学のOBがうらやむほどのなごやかで楽しい集いである。

今回は、そうした懇親会のうちで地元幹事から報告のあったものについて概要をお知らせする。

あなたの住む近くで大会があったら、ぜひ出かけてみて下さい。なつかしい顔に会えると思います。

第14回社会人大会

とき 昭・56・9・19

ところ 尼崎市「すし半」

幹事 小柴守夫（8回卒）

中村秀二（19回卒）

〔出席者〕 遠藤幸雄（願） 稲橋恒行、石井征也（1） 早田卓次、菊地君男（4） 海谷美代子（7） 小柴守夫（8） 渡部宣裕（10） 山田隆士、山田寿美（11） 武本好文（12） 田中章二（14） 錦井利臣、寺元良人（16） 梶山広司、前山真一郎（17） 千田修平（18） 中村秀二、松本竣一、金居俊郎、朝倉和幸、水田靖夫（19） 後閑文昌、慶田盛定（20） 平田倫敏、山脇恭二、中村秀也、松永二郎、鹿野久、矢木幹男（21） 国井信行（22） 以上31名

昭和57年度全国高校総体

とき 昭・57・8・3

ところ 鹿児島市「さつま路」

幹事 田島清貴（18回卒）

会進行 徳永富夫（13回卒）

今回の総体時、OB会の幹事をやらせていただきました。何から何までいきとどかなかったことと思いますが精一杯やりました。

出席者の皆様ありがとうございました。

なお、懇親会残金（36,000円）は、インカレ選手強化費として体操部にお贈りしました。（田島）

〔出席者〕

遠藤幸雄（願） 米田賢一（3） 早田卓次、木村多喜（4） 小栗郁郎（5） 苅込和男（7） 大和孝三、林 恵子、船木政明、山内 悟、伊藤勇、橋口泰武、山崎智彦、近藤盛一（8） 近藤明、堀田敏明（10） 宇野正信（11） 椎名 昇 庄司忠男、徳永富夫、中村榮喜、山口次男（13） 青木文次、田中章二（14） 林 富久寿、谷田部光則（15） 椎名 厚（16） 佐藤之俊、田島清貴（18） 杉沼 誠（20） 鶴 鈴子（21）

以上31名

第15回社会人大会

とき 昭・57・9・4

ところ 下関市

幹事 中谷秀明（13回卒）

秋の足音が一段と早く聞える今日このごろ皆様にはいかがお過ごしでしょうか。先日行なわれました社会人大会における報告と近況をお知らせします。

今回の大会出場者名簿をみると、約200名の選手のうち25名程のOB選手と関係の先生方がお見えになる様子、44年の全日本選手権、49年の日ソ対抗以来大きな大会を開いたことのない山口の関係者は不安と期待をもちながらの待ち遠しい日々を過ごした。

8月の中旬、大和銀行に勤めている後輩の前山君から突然電話があった。大会の前に合宿させてほしいとの内容だった。私としては喜んで受け入れたい気持ちでいっぱいだったが、いかんせん器具が古く彼らの練習に支障がでるのではないかとという心配が大きかった。しかし前山君の返事は「古いのは覚悟のうえ、体を動かせれば充分」とのこと、安心して引き受けることができた。

8月30日から9月2日までの4日間、全日本選手権の優勝チームが来るというので、近くの中、高校生ばかりか一般の人までが見学に来て来た。幸いけが人もなく（調整ができたかどうかはさだかでないが）、9月2日の夕方下関へ送り出した。

仕事の都合で4日の早朝下関入りした私は、審判以外にもいろいろ雑用に追われた。

さて、第2班、紀陽銀行と同じ班で入場してきた大和銀行の選手の演技が始まった。鉄棒の審判をやりながら、どうしても後輩の演技に目がいつてしまう。最初の平行棒で少しつまずいたような感があったが、2種目めの鉄棒ではすばらしい演技を見せてくれた。特に山脇、平田両選手の演技は目をみはるものがあり、観衆の目をくぎ付けに

した。

規定が終わったところで、大和が3.05の差をつけてトップに立ち、個人でも1、2、3位を独占した。10位以内に松本、峯田、梶山君らの名もみえ、まさに「日大強し」である。

その夜、8時からのOB会では、九州からかけつけてくれた先輩6名も交えて総勢30名が、時のたつのも忘れて語り合った。選手は試合に備えて一足先に帰ったものの、久しぶりの再会に話の尽きぬ方もいておひらきになったのは10時半をまわっていた。

翌9月5日の自由も前日の調子そのまま続いて大和が圧倒的な強さで優勝した。個人でも山脇君が優勝、2位には平田君が入り、私としても鼻が高い思いだった。全体的にみて出場チームの名は違いますが各大学のOBがまとまってチームを組んでいるため、まるでインカレのような雰囲気があった。ただ残念だったのは桜樹がチームを組めなかったことである。

大和所属のOB、それに梶山君が組んで桜樹チームとして出場、圧倒的な強さで優勝したのはその夜の夢だった。

(57.9 中谷)

[出席者]

後藤清一、遠藤幸雄(願) 稲橋恒行、石井征也(1) 早田卓次(4) 磯部忠通(5) 大坪哲夫、梅崎捷也、一田召三、古賀和彦(6) 貝増隆司、中原 剛、海谷美代子(7) 渡部宣裕(10) 松尾道子(11) 中谷秀明(13) 錦井利臣(16) 梶山広司、前山真一郎(17) 佐藤之俊(18) 金居俊郎、松本竣一、朝倉和幸(19) 後閑文昌(20) 平田倫敏、山脇恭二、磯部育子、鹿野 久(21) 峯田孝幸、櫛野千恵

美(23)

以上30名

第37回 国民体育大会(くにびき国体)

～このふれあいが未来をひらく～

神話の国に集う日本大学桜樹会

「国びき国体」の名のもと～このふれあいが未来をひらく～をスローガンに第37回国民体育大会秋季大会が、去る10月4日から4日間体操競技発祥の地、島根県浜田市において開催されました。当市は本県のほぼ中央に位置し、漁業を中心とする人口約5万人の街で、遠来の方には交通の不便をおかけしたことと思います。

さて、ここに例年国体開催に併せ催される日本大学桜樹会懇親会の模様についてご報告申し上げます。

懇親会は規定第1日目の10月4日午後7時より、門脇、早田、木村先生をはじめ多数の仲間をお迎えし、盛大なうちにも和やかに行なわれ、まさに“このふれあいが未来をひらく”のスローガンにふさわしい懇親会でした。

私にとっては卒業以来13年ぶりにお逢いする諸先輩も、寄る年波を隠せず、頭髮には“白”きも

のが目立ち(と言う自分にもその兆候はあるのだが)過ぎ去る過去の想いにひたされました。しかし、厳しくもあり暖い気持の持主であった学生時代と今もって何ら変ることのない諸先輩に接して、大いに感激した次第です。

その後、国体の疲労を癒す間もなく、当館のスポーツ教室の運営や日本バレーボールリーグ浜田大会誘致にと奔走する毎日ですが、社会体育の振興に一層努力してまいりたいと思っております。

最後に、この大会に寄せられました多大なご厚情に深く感謝申しあげ懇親会報告と致します。

幹事 島根県立体育館指導課長

宇津 豊(10回卒)

〔出席者〕 門脇春男、早田卓次、木村多喜、藤谷弘一、大和孝三、船木政明、伊藤 勇、近藤盛一、近藤 明、渡部宣裕、橋口泰武、常井晴道、山口次男、梶山広司、畠山繁博、青木文次、佐藤之俊、椎名 昇、杉沼 誠、境 保則、中村栄喜、田中章二、西野晴久、後閑文昌、小田原隆禎、椎名 厚、金子洋平、米田賢一、海谷美代子、二岡真美子、寺元良人、宇野正信、松尾道子、宇津豊(敬称略、順不同) 以上33名

部長・監督の交代に伴うパーティー報告

6月26日、午後5時より体操部長ならびに監督の交代に伴う本会主催によるパーティーが、原宿駅前前の南国酒家にて開催された。

パーティーに先立ち昭和57年会員総会が行なわれ、決算報告(別掲)のあと役員改選では会長以下全員留任を決定した。

パーティーは60名を超える参加者でにぎわい、終始なごやかな雰囲気のうち進行した。山形から駆けつけた宇野君(11回卒)と佐藤君(18回卒)から、前部長、監督、そして新部長、監督のそれぞれ先生方に山形からのみやげが手渡されると会は最高の盛り上りをみせた。テーブルには、彼らが持参したとりたてのさくらんぼが色どりを添えていた。

本会からは、浜田、遠藤両先生に対してささやかな記念品が贈呈されたが、プレゼンターには、富山の森 俊子さん(20回卒)と岐阜の磯部育子さん(21回卒)という遠来の2人があたり花を添えた。

久しぶりにお見えになった顧問の平野先生も、若い女子会員にとり囲まれてしごくご満悦の様子に見うけられた。いつまでもお元気で、たまにはこうしてOB会にもお出かけいただきたいものである。

〔出席者〕

平野平三、浜田靖一、門脇春男、遠藤幸雄、石井征也、稲橋恒行、恭子、平川文雄、堀田淳二、吉川 輝、芳尾 明、早乙女貞夫、金子正史、池田智美、上野 剛、菊地君男、木村多喜、高田信興、早田卓次、小栗郁郎、小松武雄、金子洋平、鶴見興人、岡本公子、苅込和男、佐藤 勲、山本光子、岩田 惇、橋口泰武、朝倉徳雄、早川尚夫、近藤 明、高波可雄、津村二郎、箱根 修、森 昭雄、宇野正信、工藤昌二、網島路正、山本好隆、高橋正典、船山忠広、相原和明、朝倉康雄、武本好文、菅野秀俊、塚田和茂、中島 孝、

森田 博、山崎雅昭、中島松子、谷田部光則、錦井利臣、梶山広司、前山真一郎、黒崎淑行、佐藤之俊、大友栄紀、内田民雄、金居俊郎、伊藤昭代、森 俊子、渡辺嘉三、岩井高志、遠藤孝之、高見 等、中村秀也、平田倫敏、松永二郎、磯部育子、山脇恭二、岡島耕一、高橋亜子、蛭間比呂志、柳井 実、早瀬幸博、峯田孝幸、藤井幸信

〔会員外〕

高橋正直、ジミー田中

〔記念品代〕(受付順)

佐藤久恵、伊藤 勇、猪瀬宗子、田島清貴、茂木こずえ、田野 哲、慶田盛 定、吉村 博、境 保則、堀田敏明、山田隆士、藤谷弘一、松本恭子、梅崎捷也、西沢真理子、藤原和子、山崎忠男、門脇 文、宇津 豊、木村邦博、岡本みどり、吉田清一、松田 洋、加津子、宮本知加子、摂子、松田 明、片山雅道、松岡範孝、岡本祥子、村松 一、志賀正昌、中谷秀明、小島真理、志村久子、小林敏彦、酒田 隆、浅田泰男、島崎康行、安藤泰行、高橋三千子、今井久美子、真島孝礼、河原正昭、赤井和子、船木政明、梶 信昭、千野良一、水田靖夫、小俣里知子、原 弘吉、仲西盛光、田中章二、波多野 伸、国井信行、安富 寿、遠藤みのり、青木文次、久保英雄、山内 悟、井上 靖、伊藤寛美、塚越充知子、平野昌宏、諸岡嘉春、岩沢 稔、外山宜男

以上 67 名分 143,000 円

昭和56年度 決算報告

総務 菊地君男
鶴見興人

収入の部

項目	予算	決算	備考
繰越金	656,035	656,035	
会費	650,000	644,000	過年度分 37,000 本年度分 595,000 次年度分 12,000
寄付金	0	0	
雑収入	3,965	150,331	懇親会剰余金、預金利息等
合計	1,310,000	1,450,366	

支出の部

項目	予算	決算	備考
事業費	600,000	355,400	会報臨時号 31,400 会員名簿 124,000 選手派遣費 200,000
補助費	200,000	106,450	インカレ補助、懇親会補助等
会議費	50,000	11,700	体協室代等
通信・印刷費	200,000	138,420	会報、名簿送料、その他通知等
事務費	15,000	7,440	封筒、原稿用紙等
雑費	10,000	6,690	口座手数料
予備費	235,000	70,750	見舞金等
繰越費	0	753,516	
合計	1,310,000	1,450,366	

「私の提言」

大学スポーツ興隆への問題点と展望

門 脇 春 男

スポーツが社会に与えている影響は、いまさら言うまでもなく多岐にわたり、その分野は体育だけにとどまらず、社会学・政治・経済・医学等と広い領域に及んでいる。

近年、先進国にあって日常生活における余暇活動のあり方が大きくクローズアップされ、それにもなってスポーツの効用が再認識されてきている。日本でも東京オリンピック大会以降スポーツの普及とあいまって、この余暇時間の利用方法が、労働時間の短縮、健康のあり方などとの関わり合いを含めて大いに議論され、今日に至っている。

社会主義国家では、国民の健康と国威発揚を意図しスポーツの奨励を勧め、オリンピック大会等の国際競技会で優勝すれば、スポーツマスターの称号を与え、その選手の栄光を讃えるとともに、生涯の生活保障を実施している。自由主義国家にとってのスポーツ活動は、記録が永遠に残るものの、所詮は余暇活動としての“遊び”の領域から脱せず、青春のプロログとしか評価されないものである。しかし、これもアマチュアだからいたし方がないのかもしれない。

大学の体育は、第二次大戦後に学校制度の再検討がなされた際、教育基本法・学校教育法(昭22)、さらには、大学設置基準等により大学に広大な運動施設を有することが義務付けられ、学校教育内活動の一環として体育が、大学に深く関わり合っ

て今日まできている。現在、卒業条件として体育に関する三科目四単位を履修しなければならない、従って、この授業内容のあり方も、スポーツ的要因を含んだカリキュラムの作成が必要となってきた。今後、大学の体育では、このスポーツ種目の実施方法が、施設利用方法とともに十分に検討されなければならないだろう(注=文理学部では、昭和45年からスポーツ種目の選択を一単位指定している)。

次に、スポーツと大学の関係を考察すると、昔懐かしい思い出として、当時、本学学生であった古橋広之進、橋爪四郎氏が昭和23年の日米対抗、明治神宮外苑プールにおける全日本水泳選手権での世界新記録の樹立は、終戦後、自信を喪失していた日本人に、新しい生命を復活させたといっても、決して過言ではない。このことは、30数年後の今日でも、スポーツの社会的効用を高めることに役立っている。

さて、国立大学としての筑波大学体育学群がとっている定員1/3推薦入学制と、その実施が12月であることに注目したい(他私立体育系大学、学部ではほとんど実施している)。能力のある優秀選手を推薦入学させることは、冬季練習に時間をかけさせ、技能の低下を防ぎ、運動傷害事故防止にも役立っている。本学でもこの制度の導入が考えられないだろうか。体育学科以外では、いささ

か抵抗が出るかもしれないが、一つでもやってみることによって、その年度の優秀選手が入学できるならば、大学スポーツの牙城としての日本大学が不滅なものになる可能性は、現行よりもさらに高くなるであろう。これは単に現役の学生が強いことを喜ぶのみにとどまらず、近い将来必ず日本

スポーツ界でもリーダーシップをとり得ることもなる。なぜ筑波大学がこのような制度を新しい型の大学を作ったときに実施したかを考え、日本大学の将来展望を明るい方向へ積極的に推進すべきではないだろうか。

アメリカの印象

小松武雄(5回卒)

大学から中期海外派遣研究員の承諾があった時、私は既にアメリカ行を決めていた。5年前に駆け足で見たスポーツクラブの内容を詳しく見るために……。スポーツクラブの話は研究報告書に委ねることにして、ここではアメリカで過ごした半年間の思い出話の一部を書くことにする。

私の住んでいたカリフォルニアのサンノゼは、別名シリコンバレー(IBMのスパイ事件で有名になった)とよばれる位、コンピューター関係の高度技術産業が集中している所で、私が行った頃は果実を食い荒す地中海ミバエが猛威を振っていた時であった。連日のようにヘリコプターが散布する消毒液のため、展示販売されている自動車のフロントガラスは茶色に変色してしまふ。洗っても洗っても汚されるディーラーは、在庫減らしと結びつけて価格をディスカウントしたり、リベート販売を開始した。もっとも、輸出台数を規制された日本車は人気が高まる一方で、在庫はほとんどなく、予約しても色を指定することなど不可能に近い。

アメリカは日本の25倍の面積をもつ大きな国である。どこに行くにも車が必要だろうと、日本を出発する時国際運転免許証に書き換えて出かけたが、現地ではあまり歓迎されぬしろもの。当地の免許証を取得するのも一興と近くの自動車管理局に出かける。交通標識はほとんど日本と同じであるが、yield(譲れ)のような特殊なものもある。時速や距離がマイルやフィートで表現されているのはとまどったが、試験の前にまる暗記してどうやらパスした。この筆記試験は英語、仏語、独語、スペイン語、中国語などどれでも受けることができる。ちなみに私は日本語の問題用紙で受験した。ただし、交通標識の名称や意味などを質問され、それに対して回答できる簡単な英語くらいは話せなければならない。視力の落ちたのが心配であったが、カウンターの奥にあるアルファベットを横目で見ながらどうやら読めそうだと一安心。ところが視力検査は菱形のチェックボードでポイントを読むものであった。「Top-----Right-----Left-----」と調子よく読んでいたらポイントが

下に来た。「はて、下は何だっけ……」検査官の顔を見て右手の人差指を下に向けたら、ニタッと笑って「Bottom」と教えてくれた。「な〜んだ、野球の表と裏（top & bottom）と同じなのか」

Bottomの単語が出ないことが照れ臭かった……恥かしかった……。俺の英語も所詮はこんなもんだ……と。そんな事を考えながら帰ったら、いつの間にか道を間違えて裏通りを歩いていた。ところがそこでみつけたのだ。Toplessと並んでBottomlessの看板が出ている店を……（先ここを見ていればなあ）。翌日からは積極的に裏通りも歩くことにした。生きた英語をさがしながら……。

カリフォルニア州の運転免許証を手に入れ、適当な中古車を購入した（帰国時にほとんど同額で売りとはしたのでレンタカーを借りるよりも安上がりであった）。車を購入した店の主人はノルウェー系のアメリカ人であったが、すごいなまりのある英語を話すので、私も自分の発音に自信をつけたものである。

大学の構内で休憩していると日本人らしき少女がやって来て私を見て中国人かと聞く。私が日本から来たことを伝えると、丁寧に謝り自分がベトナムから来て現在大学で勉強中であることを告げた。質素でこざっぱりとした服装とその態度から、難民としての苦悩のかけは少しも見えなかった。

ダイニングキッチンで焼肉をしていたら突然警報器が鳴り出した。窓や扉を開放して換気をしたが止まらない。消防自動車の来る事を覚悟しながら警報器に触ると天井からポロリと落ちた。電池をはずしてやっと音から解放された。この警報器は煙探知器の一種だそうだが、今も戸袋の片隅で

電池をはずされたまま放置されているのだろうか……。

金と暇のあるアメリカ人はクリスマス休暇をハワイかマイアミで過ごすという。ハワイですばらしいクリスマスを過ごした後、再びカリフォルニアへ向う。搭乗口でチケットを見せると年増のステューワーズがウインクをして迎える。ドキッ！初めて乗るファーストクラス。できるだけ平静を装うが、内心は席を立て走りまわりたい感じ。酒を飲んで心を落ちつかせるがだめ。こうなったらケセラセラ。きれいなステューワーズが隣に座って（膝の上ではないぞ）料理の注文に来る。酒もうまいしネエチャンもきれいだ。ああ、身も心も空を飛んでいるみたいだ。バカ！本当に飛んでいるんだよ。

アメリカンフットボールは最も人気のあるスポーツで、メジャースポーツといわれるにふさわしく、プロも大学も非常に人気がある。競技場で観る試合はテレビとは比較にならない迫力で、エキサイトした観客は喜怒哀楽をストレートに表現する。一斉に立ち上る観客。大喚声と拍手の中でタッチダウンした選手が、防具をつけたまま宙返りをしたり尻を振ってツイストを踊る余裕と陽気さ。真剣勝負はまだ続いているというのに……。スポーツに酔うというのはこんなことをいうのだろうか。真青な空と緑の芝生。そして自由な雰囲気アメリカの印象を一層強くした。

現 役 の こ と ば

(男女の主将、総務に体操部について書いてもらいました)

男子主将 市原邦彦

私が体験部で4年間過ごしてみて、私達の部の特徴はチームワークの良さにあると思っています。私は、入学してすぐ大きなけがをしてしまい1年間ブランクができてしまいました。あの頃、自分自身でも体操を続けていくことに自信を失い、何度かやめようと思いましたが、部員のみんなに励まされてここまでやってくることができました。部員が事件を起こしてしまった時でも、先生方や部員みんなで体操部をもう一度みなおし、その結

果より一層みんなの団結力が強まりよりよい方向へ進むことができたように思います。

しかし半面、最近の競技会では成績が思わしくないようです。これも持前のチームワークの良さを発揮してよい方向へ向ってほしいものです。

私は選手として実際に力になれるのは、今度の全日本が最後ですが、その後も、後輩の指導などで部の発展のために努力していきたいと思っています。

女子主将 湯浅誠子

大学生活4年間。あっ！という間に過ぎ去ろうとしている。ふり返ってみると、思い出すのは苦しかったこと、叱られたことばかりで、楽しいことはひとつも思い出せない。苦しいほど何かが身につき、積み重なっているものです。毎日、体操、体操で明け暮れてしまったけれど、練習、合宿所生活と一緒に泣いて笑って励まし合った仲間との縦と横の人間関係は、私が体操部で得た宝です。一生大切にしていきたいと思っています。

年々減っていく部員と反比例に増えていくけが

人。しかしなお難しい技へ挑戦していかなければならない今の体操競技。苦しい、もうダメだ！やめたい！そう思う時だってあると思う。でも今しかできない青春を賭けたこと、どんなことがあってもやり抜かなければあとに悔いが残る。

頑張れ後輩たち。頑張れ日大体操部。

「頑張る」ということは、がまんして身をすりへらすことではない。自分に目標を持って一步一步進んでいくこと、生きがい、張りあいなのです。

男子総務 吉盛武光

日大体操部の部員となって4年目になります。2年の時にけがをしてしまい、以来マネージャーをやってきました。マネージャーとして日大体操部を見てみると、他の部よりも部員数が少なく、とてもまとまりのある部だと思います。合宿所ではみんなが家族同様の生活を送っています。

しかし一方体育館では、みんながライバル意識

を持って活発に練習に励んでいます。また、OBと学生と一緒に練習できることもとてもすばらしいことだと思います。

今後も、先生方、OBそして学生が一体となって、今よりももっともっとすばらしい雰囲気、他ではみられない部にするため努力していきたいと思っています。

女子総務 木島智代

女子の場合、年々部員が少なくなっている。うえ、けが人が多くいつもぎりぎりのメンバーで試合にのぞむ。もちろん、メンバーの中にも何人かはどこかしら故障している人がいる。

体重が増えると動きが鈍くなったり、体調をくずしがちになるだけでなく、故障箇所に負担がかかるので減量には十分注意しなければならない。減量は自分との戦いであり、他人にとやかく言わ

れる前に自分からやるべきである。

現在、女子体操界は中学生や高校生選手が世界の舞台で活躍している時代である。そうした選手に技では勝てないかもしれないが、動きの美しさや優雅さを中心とする表現のし方では十分競い合えると思う。自分の持ち味を生かしてがんばってほしい。

競 技 会 成 績

昭和年月日(場所)	大会名		順位	男子	順位	女子
S 55 . 6 . 13~15 -駒沢体育館-	第14回東日本学生 体操競技選手権大 会	・団体総合	4位	峯田 孝幸 早瀬 幸博	5位	田嶋しのぶ
		・個人総合	6位		渡辺 光昭 田場 陸信 峯田 孝幸 早瀬 幸博 国井 信行 峯田 孝幸 武田 貞二	
		・種目別				4位
		ゆ か	4位			
		あん馬	6位			
		平行棒	3位			
		鉄 棒	1位			
			4位			
			4位			
			6位			
S 55 . 8 . 20~24 -岩見沢スポーツ センター-	第34回全日本学生 体操競技選手権大 会	・団体総合	4位	峯田 孝幸	6位	田嶋しのぶ
		・個人総合	3位		早瀬 幸博 市原 邦彦 峯田 孝幸 国井 信幸 峯田 孝幸	
		・種目別				
		ゆ か	6位			
		あん馬	4位			
		平行棒	2位			
		鉄 棒	1位			
			2位			
S 55 . 10 . 29 -駒沢体育館-	関東学生新人 体操競技選手権大 会	・団体総合	優勝	小野田博之 渡辺 光昭	2位	田嶋しのぶ
		・個人総合	2位		小野田博之 小野田博之 加藤 安則 小野田博之 渡辺 光昭 小野田博之 渡辺 光昭 小野田博之 渡辺 光昭 久田 直也 小野田博之 渡辺 光昭	
		・種目別				
		ゆ か	2位			
		あん馬	3位			
			6位			
		つり輪	5位			
			5位			
		跳 馬	4位			
			5位			
		平行棒	1位			
			2位			
			6位			
		鉄 棒	1位			
			5位			
S 55 . 11 . 22~24 -伊勢崎市民 体育館-	第34回全日本 体操競技選手権大 会	・団体総合	8位	国井 信行 峯田 孝幸	6位	田嶋しのぶ 片山みちる
		・個人総合	20位		国井 信行 国井 信行	
		・種目別				
		あん馬	8位			
		鉄 棒	6位			
		ゆ か			7位	田嶋しのぶ
S 56 . 6 . 19~20 -大田区体育館-	第15回東日本学生 体操競技選手権大 会	・団体総合	4位	小野田博之	4位	
		・個人総合	8位		早瀬 幸博 渡辺 光昭 武田 貞二 峯田 孝幸 小野田博之	
		・種目別				
		あん馬	1位			
		跳 馬	6位			
		鉄 棒	4位			
			5位			
			5位			
		段違い				
		平行棒			5位	岡崎 格子
		平均台			5位	岡崎 格子

昭和年月日(場所)	大会名		順位	男子	順位	女子
S 56 . 8 . 11 ~ 16 -駒沢体育館-	第35回全日本学生 体操競技選手権大会	・団体総合 ・個人総合 ・種目別 ゆ か あん馬 つり輪 平行棒 鉄 棒	3 位 10 位 13 位 14 位	峯田 孝幸 渡辺 光昭 市原 邦彦 渡辺 光昭 市原 邦彦 早瀬 幸博 早瀬 幸幸 峯田 孝幸	4 位 11 位 14 位	片山みちる 田中 千春
S 56 . 10 . 8 ~ 9 -駒沢体育館-	関東学生新人 体操競技選手権大会	・団体総合 ・個人総合 ・種目別 あん馬 跳馬 鉄馬 ゆ馬 段違い 平行棒	4 位 6 位	千代 恭司 田中 健一 糸稻 伸久 千代 恭司	4 位 6 位	岡崎 格子
S 56 . 10 . 23 ~ 25 -唐津市文化 体育館-	全日本体操競技選 手権大会	・団体総合 ・個人総合 ・種目別 ゆ か 跳馬 鉄馬	10 位 14 位	渡辺 光昭 渡辺 光昭 渡辺 光昭 渡辺 光昭	6 位 30 位	岡崎 格子
S 57 . 6 . 18 ~ 20 -駒沢体育館-	第16回東日本 学生体操競技選手 権大会	・団体総合 ・個人総合 ・種目別 ゆ か あん馬 つり輪 跳馬 鉄馬 段違い 平行棒 平均台	3 位 1 位 5 位	小野田博之 市原 邦彦 小野田博之 市原 邦彦 市原 邦彦 島田 利夫 小野田博之 武田 貞二 小野田博之 渡辺 光昭	4 位	岩崎 朗子
S 57 . 8 . 17 ~ 22 -静岡県草薙 体育館-	第36回全日本学生 体操競技選手権大会	・団体総合 ・個人総合 ・種目別 あん馬 つり輪 跳馬 鉄馬 段違い 平行棒	4 位 8 位 14 位	市原 邦彦 島田 利夫 市原 邦彦 島田 利夫 渡辺 光昭 渡辺 光昭	4 位 9 位	岡崎 格子
					5 位	岡崎 格子

昭和56年度 会費納入者一覽

納入総額 64,400円 (決算報告参照)

領収証	月日	氏名	金額	領収証	月日	氏名	金額
1	56.4.1	岡島耕一	2,000	27	6.18	山田隆士	4,000
2	"	片山雅道	2,000	28	"	赤井和子	4,000
3	"	河合三枝子	2,000	29	"	小林敏彦	2,000
4	"	国井信行	2,000	30	"	今井久美子	2,000
5	"	柴沼篤博	2,000	31	6.19	原弘吉	4,000
6	"	高橋亜子	2,000	32	"	金居俊郎	2,000
7	"	友久加代	2,000	33	"	高橋知子	2,000
8	"	二木喜代美	2,000	34	"	高橋正典	4,000
9	"	蛭間比呂志	2,000	35	"	西沢真理子	2,000
10	"	安富寿	2,000	36	"	境保則	2,000
11	"	吉田清一	2,000	37	"	佐藤之俊	2,000
12	"	渡辺幸子	2,000	38	"	酒井清	3,000
13	4.24	田中章二	5,000	39	"	宇野正信	4,000
14	5.11	橋口泰代	8,000	40	"	梶山広司	3,000
15	5.16	木村多喜	5,000	41	6.20	近藤明	4,000
16	"	早乙女貞夫	10,000	42	"	塚越美和子	2,000
17	"	上野剛	5,000	43	"	伊藤勇	4,000
18	"	堀田淳二	5,000	44	"	佐々木典久	3,000
19	"	小松武雄	5,000	45	"	森田博	3,000
20	"	志賀正昌	10,000	46	"	岡本みどり	3,000
21	"	朝倉徳雄	4,000	47	6.22	松山禎一	3,000
22	"	池田智美	5,000	48	"	安藤泰行	4,000
23	"	山本好隆	4,000	49	"	西原由美子	3,000
24	"	酒井博行	3,000	50	"	藤原和子	3,000
25	6.16	安藤久実	3,000	51	"	磯部育子	2,000
26	6.18	小島真理	2,000	52	6.23	小柴守夫	4,000

領収証	月 日	氏 名	金 額	領収証	月 日	氏 名	金 額
53	6.23	酒田 隆	2,000	83	7.2	鶴 鈴子	2,000
54	"	中村 恭子	2,000	84	7.3	梶 信昭	4,000
55	"	保坂 弘一	5,000	85	7.4	志村 久子	3,000
56	"	青木 文次	3,000	86	7.7	吉村 博	3,000
57	"	白土 弘士	3,000	87	"	藤谷 弘一	5,000
58	"	山崎 忠男	4,000	88	7.8	船木 政明	4,000
59	"	柏谷 錦一	2,000	89	7.10	浅田 泰男	5,000
60	6.24	芳尾 明	5,000	90	"	佐藤 久恵	3,000
61	6.25	久保田 一行	2,000	91	7.13	椎名 厚	3,000
62	"	朝倉 康雄	4,000	92	"	葛井 克政	3,000
63	6.26	前田 千賀志	5,000	93	7.14	板谷 盛清	2,000
64	"	森山 理	4,000	94	7.17	村上 吉正	3,000
65	"	小貫 孝春	2,000	95	7.18	金子 正史	5,000
66	"	戸沢 滋	3,000	96	7.21	渡辺 美弥子	2,000
67	"	田中 康義	2,000	97	7.24	山内 悟	4,000
68	6.27	鴨下 哲夫	4,000	98	"	松本 竣一	4,000
69	"	久保 英雄	6,000	99	7.28	小俣 里知子	5,000
70	6.29	錦井 利臣	6,000	100	"	松田 明	4,000
71	"	菅野 秀俊	3,000	101	"	過足 重六	3,000
72	6.30	谷田部 光則	3,000	102	"	野津 泰秀	3,000
73	"	鈴木 光雄	4,000	103	7.29	田野 哲	5,000
74	"	中村 秀也	2,000	104	7.31	松永 二郎	2,000
75	"	伊谷 正一	4,000	105	"	杉田 智加子	2,000
76	7.1	中谷 秀明	3,000	106	8.1	相原 和明	4,000
77	"	松田 洋	2,000	107	"	石丸 洋	3,000
78	"	後閑 文昌	2,000	108	8.3	椎名 昇	3,000
79	"	山本 富士子	2,000	109	8.4	高橋 三千子	2,000
80	"	島崎 康行	3,000	110	8.5	岡崎 恭児	3,000
81	7.2	平野 文世	3,000	111	8.6	千野 良一	4,000
82	"	岩井 高志	2,000	112	8.8	橋口 幸弘	2,000

領収証№	月日	氏名	金額	領収証№	月日	氏名	金額
113	8.10	古田 真由美	2,000	143	9.22	山崎 雅昭	3,000
114	8.14	森 俊子	2,000	144	"	荒川 千文	3,000
115	8.24	中村 栄喜	3,000	145	"	早川 尚夫	4,000
116	8.26	岡本 公子	5,000	146	"	富松 由三子	2,000
117	8.28	高橋 和秀	2,000	147	"	佐々木 敏子	3,000
118	8.29	田中 清子	4,000	148	"	松本 恭子	4,000
119	8.31	杉沼 誠	2,000	149	"	人見 省吾	4,000
120	9.1	長野 郁代	2,000	150	9.25	米田 賢一	5,000
121	9.5	朝倉 和幸	2,000	151	"	広川 潔	4,000
122	"	鹿野 久	2,000	152	"	櫛谷 宗敬	4,000
123	"	工藤 昌二	4,000	153	"	石井 悦夫	3,000
124	9.8	松下 悦子	2,000	154	"	阿部 稔	4,000
125	"	黒崎 淑行	2,000	155	"	朝比奈 昭夫	2,000
126	9.9	鮎合 みのり	2,000	156	"	斉藤 敬一	3,000
127	9.12	伊藤 昭代	2,000	157	9.26	栗原 良孝	3,000
128	"	坪井 しのぶ	2,000	158	"	高見 等	2,000
129	"	浜野 純子	2,000	159	"	津村 二郎	4,000
130	"	矢木 幹夫	2,000	160	"	春山 文子	5,000
131	9.10	西村 久美子	2,000	161	9.28	大津 卓也	3,000
132	9.11	島山 繁博	2,000	162	9.29	常井 晴道	4,000
133	"	水田 靖夫	2,000	163	"	後藤 史郎	3,000
134	9.12	宇ツ木 久美子	2,000	164	9.30	住広 晃	3,000
135	9.14	松山 もと子	4,000	165	"	金子 洋平	5,000
136	9.17	本池 浩次	2,000	166	10.1	菅原 明雄	3,000
137	9.19	大和 孝三	10,000	167	"	林 富久寿	3,000
138	"	寺元 良人	3,000	168	"	岡本 祥子	4,000
139	"	平田 芳和	2,000	169	10.3	山中 勝男	5,000
140	9.21	綱島 路正	4,000	170	10.5	岩沢 稔	5,000
141	"	山田 晴一	3,000	171	10.9	山本 光子	5,000
142	"	印宮 亨	4,000	172	10.12	高田 信興	5,000

領収証№	月日	氏名	金額	領収証№	月日	氏名	金額
173	10.12	山口次男	3,000	183	11.21	高波司雄	4,000
174	10.13	吉田義則	4,000	184	12.22	里中昌子	4,000
175	10.16	中村秀二	2,000	185	12.24	奥田早苗	3,000
176	"	佐藤 勲	5,000	186	12.3	門脇 隆	4,000
177	10.22	久保英雄	3,000	187	12.26	海谷美代子	5,000
178	10.28	池田一正	3,000	188	57.1.23	木村多喜	5,000
179	10.29	前山真一郎	3,000	189	1.30	八戸 昭	5,000
180	10.30	佐野静雄	3,000	190	2.1	堀田敏明	4,000
181	11.4	中島 孝	3,000	191	3.5	菊地君男	5,000
182	11.9	箱根 修	4,000	192	3.20	鶴見興人	5,000

会費納入について

会報発行が遅れましたが、本年度
会費は年内に忘れず納入して下さい。
納入金額は次の通りです。

第 1 回卒～第 8 回卒	5,000円
第 9 回卒～第 13 回卒	4,000円
第 14 回卒～第 18 回卒	3,000円
第 19 回卒～第 23 回卒	2,000円

会 員 名 簿 訂 正 ・ 追 加

1981年版会員名簿を次の通り訂正または追加して下さい。

また、住所がわからなくなった方についてご存知の方は、至急総務までご連絡下さい。

顧 問

門 脇 春 男

〒206

浜 田 靖 一

(住) 生田6-36-4

第1回

稲 橋 恒 行

(勤・電) 03-563-3346

第2回

芳 尾 明

(勤) 新冷商工 (電) 045-381-9252

第3回

川 村 竹 子

(住) 削除

工 藤 道 弘

(住) 061-21札幌市南区真駒内泉町2-1-15

ト-カンマンション真駒内 II B 1 0 2

(電) 011-582-9024

後 藤 和 正

(住) 削除

第4回

小 俣 里 知 子

(勤) 日本大学三島学園

(住) 三島市徳倉2-29-23

第5回

磯 部 忠 通

(住) 戸畑区中原西3-8-5

第6回

小 松 楯 木

(住) 削除

鶴 見 興 人

(住) 生田6-1-8

佃 西 盛 光

(住) 宮城1448

一 田 召 三

(住) 中間市唐戸2

大 坪 哲 夫

(住) 803 北九州市小倉北区都1-14-2

(電) 093-571-7022

第7回

海 谷 美 代 子

(住) 245横浜市戸塚区和泉町1740-8

(電) 045-801-8331

貝 増 隆 司

(住) 北九州市門司区新厚町6-13

中 原 剛

(住) 堅林町11-17

梶川アパート102号

二岡 真美子

(勤) 県立根雨高校

前田 千賀志

(勤) 県立杵築高校 (電) 09786-2-2037

(住) 879-15 大分県速見郡日出町

大字藤原日出自然郷26-5

(電) 09777-2-0762

第8回

安田 和明

(住) 春日町3-31-43-205

第9回

赤井 和子

(住) 中新田1528-12

佐藤 寛美

(勤) (財) 群馬県スポーツ振興事業団

井上 靖

(住) 672 姫路市飾磨区恵美酒364-1

第4 恵美酒マンション605号

横山 邦子

(住) 削除

第10回

飯島 好美

(勤・電) 0474-82-6351

門脇 隆

(勤) 日本社会体育振興会

(電) 0425-56-2823

高波 司雄

(勤) 五島育英会 (電) 03-461-0196

箱根 修

(住) 177 練馬区富士見台1-16-5

(電) 03-970-3427

人見 省吾

(住) Baleares. 612 (interior)

Puerto Nuevo, San Juan

Puerto Rico. 00920

松村 一

(住) 板橋区中台3-27-M111

桃井 明男

(勤) 前橋YMCA

(住) 371 前橋市国領町1-4-1

第11回

伊谷 正一

(勤) 青森県中小企業振興公社

今西 悦子

(勤) 篠山中学校 (電) 07955-2-1155

(住) 669-23 兵庫県多紀郡篠山町沢田232

(電) 07955-2-2869

印宮 亨

(勤) (株) 信濃製作所 (電) 03-967-5105

大原 健司

(勤) (住) 削除

里中 昌子

(住) 157 世田谷区上祖師谷1-19-8

綱島 路正

(勤) (株) ニチガク

広中 潔

(姓) 廣川

(勤) 大曲市立大曲中学校

舟山 忠広

(勤) 住友海上火災北見支社

(電) 0157-23-6285

(住) 090 北海道北見市三輪511

(電) 0157-36-7327

三木 和一郎

(住) 2796 KERN AV.

SAN JOSE. CA95121

U.S.A.

(電) 408-578-8931

山本 好隆

(勤) セシル・ダイヤモンド宝装

(電) 03-580-7566~7

第12回

朝倉 康雄

(自・電) 0487-73-6494

酒井 博行

(勤) 角谷工房 (電) 06-782-3377

(住) 577 東大阪市足代1-4-1

(電) 06-736-2830

島崎 康行

(住) 八尾市本町3-9-37

鈴木 光雄

(住) 362 上尾市弁財1-9-10

高柳 成子

〒206

田中 清子

(住) 640 和歌山市楠見中201-16

中野 憲明

(住) 削除

平野 文世

(住) 335 戸田市下笹目3364

松岡 範孝

(勤) 中村市立八束中学校

望月 敏正

(勤) SGMスポーツ (電) 0542-45-9693

(住) 434 浜松市天竜川町1030-3 庄幸マン

ション202号 (電)0534-21-7520

山崎 忠男

(自・電) 075-392-0692

第13回

小笠原 祥子

(住) 削除

岡本 みどり

(勤) 自宅

奥田 早苗

(勤) 削除

(住) 630 奈良市芝辻町2-10-2

飯田マンション406

(電) 0742-33-1009

塚田 和茂

(自・電) 0474-54-6868

中村 栄喜

(勤・電) 01855-4-2230

西原 由美子

(住) 大牟田市草木677-31 小宮偉一郎気付

山口 次男

(勤) 県立佐伯鶴城高校

(電) 09722-2-3101

(住) 876 大分県佐伯市池船区九班

野津 泰秀

(勤) 足立区立第11中学校

(電) 03-887-8191

(住) 346 久喜市栗原3-2-11

(出身校) 県立浜田高

第14回

青木 文次

(勤) 日本大学東北高校

青木 芳子

(勤) 須賀川市立第二中学校

五十嵐 久 人

(勤)新潟大学 (電) 0252-62-7187

(住) 950-21 新潟市五十嵐一の町

6644-7-302

(電) 0252-60-5384

久 保 英 雄

(勤・電) 03-375-1110

(自・電) 0468-73-3952

第15回

市 毛 美喜男

(住) 削除

菅 原 明 雄

(勤)大館市立城南小学校

住 広 晃

(勤)県立道守高校

竹 下 万 亀

(姓) 宮原

第16回

猪 瀬 宗 子

(勤) 自宅

(住) 上新宿 → 北新宿

白 土 弘 士

(勤) 三和町立三和中学校

志 村 久 子

(勤) (有) 志村商店 (電) 03-251-1528

錦 井 利 臣

(勤) 熊本県体育施設管理公社

(電) 0963-56-1233

(住) 862 熊本市保田窪本町 836-2

(電) 0963-84-0779

山 田 晴 一

(住) 142 品川区二葉4-21-13

渡 辺 和 子

(姓) 藤原

(住) 683-02 鳥取県西伯郡西伯町大字東町

189

第17回

安 藤 久 美

(住) 190 立川市一番町5-8-5

松中団地14-402

岡 田 洋 二

(勤) 神戸市立小東山小学校

梶 山 広 司

(勤) 日本大学農獣医学部藤沢校舎

(電) 0466-81-6241

酒 井 清

(自・電) 0298-57-2494

前 山 真一郎

(勤) 大和銀行世田谷支店

(電) 03-410-1231

松 井 登美枝

(住) 削除

松 山 禎 一

(勤) 熊本市立西原中学校

(電) 0963-83-6124

(住) 862 熊本市田迎町良町1275-1

第18回

小 川 美弥子

(姓) 渡辺

(勤) 県立若草養護学校

(住) 320 宇都宮市瑞穂2-10-2

(電) 0286-56-4538

- 小田 武子
 (姓) 室屋
 (勤) 削除
 (住) 920 金沢市田井町14-14 河崎荘6号室
 (電) 0762-62-6264
- 久保田 一行
 (勤・電) 0427-96-2248
- 小貫 孝春
 (勤) 相模原市立相模台中学校
 (電) 0427-42-6411
 (住) 長津田町1959-98 サンハイツ201号
- 田島 清貴
 (住) 緑ヶ丘町 → 緑ヶ丘
- 松田 加津子
 (住) 松田 洋に同じ
 第19回
- 板谷 盛清
 (住) 781-21 高知県吾川郡伊野町枝川
 217-3
- 今井 久美子
 (勤) 国学院大学幼児教育専門学校
 (電) 045-911-1311
- 大木 真利子
 (姓) 松本
 (勤) 大和銀行
 (住) 松本竣一に同じ
- 佐藤 悦子
 (姓) 松下
 (勤) 自宅
 (住) 583 大阪府藤井寺市道明寺2-1-12
 (電) 0729-55-0754
- 高橋 和秀
 (勤) 山村女子高校 (電) 0492-25-3565
 (自・電) 0492-54-3627
- 高橋 三千子
 (勤) 削除
 (住) 本間荘102号室 → 本間荘1-B号室
- 塚越 充和子
 (勤) 削除
 (住) 330 大宮市指扇2856-13
 (電) 0486-22-1928
- 中村 秀二
 (勤) 日本体育振興会大阪支部
- 西村 久美子
 (住) 558 大阪市住吉区東粉浜2-14-11
- 西谷 雅世
 (住) 削除
- 畠山 繁博
 (住) 削除
- 松本 竣一
 (住) 154 世田谷区若林2-39-11
 大和銀行若林厚生社宅21号
 (電) 03-419-5137
- 水田 靖夫
 (勤) 神戸市立押部中学校
 (住) 653 神戸市長田区水笠通4-1-28
 第20回
- 伊藤 昭代
 (勤) (株) ライフクリエイト
 (住) 260 千葉市松波3-4-2
 (電) 0472-51-7961

宇ツ木 久美子

(住) 151 渋谷区上原1-38-12 テラスK
(電) 03-465-6550

慶田盛 定

(住) 浜松市篠原町17276-2 篠原アパート
1-305

後 閑 文 昌

(勤) 群馬県スポーツ振興事業団

杉 沼 誠

(勤) 秋田県体育協会 (電) 0188-64-8090

坪 井 しのぶ

(勤) 塩原女子高校

久 野 京 子

(住) 削除

第21回

鮎 合 みのり

(姓) 遠藤

(住) 遠藤孝之に同じ

磯 部 育 子

(住) 錦町3-7

岩 井 高 志

(自・電) 03-321-2694

(出身高) 市立向陽高

小 島 真 理

(電・電) 0559-86-5503

酒 田 隆

(勤) 神奈川県立神田高校

(住) 254 平塚市田村6346

(電) 0463-55-1532

鹿 野 久

(住) 174 板橋区中台1-1-18

千代田荘7号

高 見 等

(勤) 草野中学校 (電) 0472-53-8034

田 中 康 義

(勤) 県立栗原農業高校 (電) 02283-2-3135

(住) 989-55 宮城県栗原郡若柳町字川南上堤
13-2

西 沢 真理子

(住) 910-41 福井県坂井郡芦原町田中々

24-15

松 永 二 郎

(勤) 丸幸水産(株) (電) 0468-82-3434

(住) 238-03 横須賀市長井町2633

(電) 0468-57-5027

水 島 克 己

(勤) タナカスポーツ (電) 0423-71-8717

(住) 206 東京都多摩市一の宮654-1

青島荘13号

本 池 浩 次

(勤) 米子市立福生小学校

第22回

岡 島 耕 一

(勤) 県立水口高校

柳 井 実

(勤) 鶴ノ森工業(株)

(住) 182 調布市小島町3-36-13 中村方

第23回 昭和57年3月卒業

伊 藤 鈴 夫

(勤・電) 01855-4-7400

(住) 018-16 秋田県南秋田郡八郎瀨町字中島

224

(電) 0188-75-2999

(出身高) 県立能代高

片山 みちる
 (勤) 柏セントラルスポーツ
 (電) 0471-43-5553
 (住) 270-11 我孫子市布佐1-23-19
 (電) 0471-89-1367
 (出身高) 市立習志野高

榎野 智恵美
 (勤) 市立上宇部中学校 (電)0836-31-1369
 (住) 759-02 宇部市厚南区中野開作454-6
 (電) 0836-41-1585
 (出身高) 宇部女子高

高橋 薫
 (勤・住) 不明

津村 吉輝
 (勤・住) 不明

早瀬 幸博
 (勤) 河合楽器
 (住) 431-02 浜松市篠原町21796
 (電) 0534-48-2510
 (出身高) 岡山日大高

藤井 幸信
 (勤) (株) 藤井組 (電) 0479-23-1802
 (住) 288 銚子市本城町3-55-1
 (電) 0479-22-3831
 (出身高) 土浦日大高

潘 鏡雄(ブーン キング ホンゲ)
 (住) 香港九龍塘尾道210号ハ楼A座K-939379
 (出身高) 香港高

峯田 孝幸
 (勤) 大和銀行
 (住) 102 東京都千代田区富士見2-14-37
 大和銀行富士見寮内

(電) 03-261-0428
 (出身高) 日大山形高

宮本 撰子
 (勤) 県立熊野高校
 (住) 649-21 和歌山県西牟婁郡上富田町
 朝来2446中山方
 (出身高) 武庫川高

宮本 知加子
 (勤) 和歌山県体力開発センター
 (電) 0734-31-7173
 (住) 640 和歌山市納定25
 (電) 0734-72-0654
 (出身高) 県立和歌山北高

渡辺 英明
 (勤) ビーブル(株) (電) 0484-73-9515
 (住) 156 東京都世田谷区赤堤4-23-5
 平塚ビル2号
 (電) 03-325-0930
 (出身高) 桜ヶ丘高
 第4回

竹内 勇
 (勤) 小松(株) 台湾駐在代表
 (電) 台北02-361-1166
 (住) R.O.C 台湾省台北市士林区中正路
 236巷37号
 (電) 台北02-831-8635
 (出身高) 県立水戸農高
 第22回

山崎 至
 (勤) 雫石インターアルペン・スキースクール
 (電) 0196-93-2248
 (住) 020-01 盛岡市館向町26-12

(電) 0196-22-7348

(出身) 県立盛岡第一高

第19回

佐藤 啓

(勤) 削除

(住) 999-37 山形県東根市大字東根. 甲 533

編 集 後 記

所用があって北九州の小倉を訪れた。当地のO Bに会いたいものと梅崎君(第6回)に連絡すると、朝食会なるものを催してくれた。(夜は当方の都合で会えなかったのだ)。

月曜日の朝にもかかわらず、待ち合せ場所である駅前の無法松の像の所に、梅崎、磯部(第5回)、大坪(第6回)、中原(第7回)の4君がやって来た。私と同行の岩田(第8回)朝倉(第9回)の両君も交えて、政治家なみの朝食会が始まった。

実に久しぶりに会ったはずなのに、つい最近会ったばかりの錯角におちいる。

面白いのは彼ら4人がみんな卒業後何年間か東京で生活していたことである。梅崎君は深川の木場で5年間材木屋の修業をして現在博多で材木店を経営している。磯部君は50年頃まで本郷高校の先生をしていたはずだ。いまは戸畑で鉄工所の社長である。大坪君と中原君は同じスポーツ店に勤めていた仲で、3年半ほど前に郷里の小倉に戻って開業した。

梅崎君はかなり太目になった。きっと金も貯ったのだろう。磯部君は白髪がふえ貫禄もついた。鉄工所といっても、作ることもっばら壊す方に精を出しているとのことだった。大坪、中原両

君のメイクンスポーツは、2人の努力でその急成長ぶりは地元でも驚異であるらしい。

大坪君は、オリンピックを控えた韓国の体協の要人の信用を得て、しょっちゅう韓国との間を行き来して活躍している。向うの高校生が九州で合宿したり、こちらから合宿に出かけたり、彼の紹介による交流が盛んに行なわれているとのことだった。高校を指導している方で、韓国で合宿してみたいとの考えをもっている方があったらぜひ彼に連絡してみるといい。向うでも望んでいるし、費用もかなり安いそうである。

さて、この日の朝食会は、桜樹会の九州支部結成の準備会でもあったのである。九州には沖縄を含めてかなりのOBが在住している。彼ら4人は大張り切りで九州桜樹会を発足させようとしている。今ごろ、九州の会員は何んらかの連絡をうけているのではないだろうか。

あの日推された磯部社長が会長になれるかどうかは別として、九州桜樹会が1日も早くはばたくことを祈りたい。

57. 11. 10

菊地 記